

＜バレーボール日本男子代表戦の応援に行ってきました！～ネーションズリーグ・リオデジャネイロ大会～＞

5月24日（金）、マラカナジーニョ（マラカナン体育館）へ、児童生徒・保護者・教員全員で、バレーボール日本男子代表の試合（VS.キューバ・ネーションズリーグ）の応援に行ってきました。

試合はフルセットまでもつれ込み、日本は絶体絶命のピンチを切り抜け劇的な逆転で勝利し、日本びいきのブラジル人たちの声援もあって、会場全体が歓喜の輪に包まれました。

4月、日本バレーボール協会に交流依頼のメールを送り、5月上旬、バレーボール協会との間を取り持ってくださった薄井領事様のご尽力により、強化委員長、の南部様とコーディネーター半谷（ハンガイ）様が学校に来て、今回の件を気持ちよく承諾してくださいました。手土産に、選手全員のサイン入りオフィシャルTシャツと記念ペナントをいただき、子どもたちにその話をして、御礼に応援寄せ書き色紙と横断幕を作り、ニッポンコールの応援練習もしました。

当日、子どもたちの座るイスの前に横断幕を掲げ、日本が劣勢になるたびに、応援団長の西原蒼太朗さんがニッポンコールを先導し、声が枯れるまで応援しました。試合後、コートに招かれ選手全員とハイタッチをしたあと記念写真を撮りました。主将の山内選手が「試合中も横断幕が良く見えました！」と感謝の言葉を述べ、児童生徒会長の西原菜南子さんが応援色紙を手渡すと、その記念写真に西田選手が飛び込んできて一緒に撮るなど、忘れられない時間となりました。

今回の観戦を通して、「あきらめない魂」・「本気」・「スポーツの力」を感じ、明日への活力を得ることができました。子どもたち、保護者、教員、リオデジャネイロ日本人学校の大きな財産となりました。



＜リオ日学 ～健康を守る～＞

①歯科検診（中内先生）5月9日（木）



ラルゴドマッシャーに医院を構える中内先生は、優しい語り口で子どもたちに接し、歯磨きのアドバイスもしていただきます。検診後、保護者にもそのようなアドバイスすべきかも丁寧にお話しくださるお任せすることが可能です。

②内科検診（国沢先生）5月16日（木）



サンパウロからお車でお越しになります。検診の後、必ず子どもたちにどんなスポーツをしているか、何か心配になることはないかを優しく問いかけ、おしゃべりの中から子どもたちの様子をしっかり見守ってください。

＜参観日～懇談会～学校昼食会～＞



5月21日（火）、授業参観・保護者会・懇談会・進路説明会・学校昼食試食会を行いました。授業参観では、担任による道徳の授業を見ていただきました。



懇談会では、全体で各担任の自己紹介と教育方針を話し、学級ごとに別れてそれぞれの様子を話しました。進路説明会では、学校として手に入れられる情報と各家庭で取り組むことの説明がありました。



学校昼食試食会では、セイアさんが魚料理（パスカジーニャ）を選んで作ってくださいました。皆で堪能しました。

＜日本の伝統 母の教え＞



私事です。母の命日が5月5日です。あれから17年たち、姉より on-line の偲ぶ会を開こうと連絡がありました。日本にいる頃は、姉・兄と私の子どもたちが会食し近況を語り合うと、母の思い出などほとんど話すことなく終わっていましたが、今回は姉が母の話をすると。手先が器用な母はお手玉を作ったり、私のシャツなど縫ってくれたと言います。

お手玉・・・！波縫い・玉止め・返し縫、今年から受け持つ小学家庭科の教材にピッタリ！しかも、完成すれば、保育の勉強にもなる。リオ柄の生地とスーパーで買ったフェイジョン（豆）を入れれば完成！日本から持参した和柄の生地も加え完璧です。母の教え、ここにありです。

全校朝会 令和6年6月4日

命
生きる
親の愛

この写真から何を感じる？



ダウン症とは？

- 筋力が弱い。
- 言葉の発達が遅い。
- 心臓など病気にかかりやすい。

- 体がやわらかい。
- 手話ができる。
- 人の気持ちがわかる。やさしい。

- 個性を認め合う社会に。
- もっと知ろう。

教え子の奈緒子さんと泰治さん（小5）
33年ぶりの再会～リオ日学への手紙～



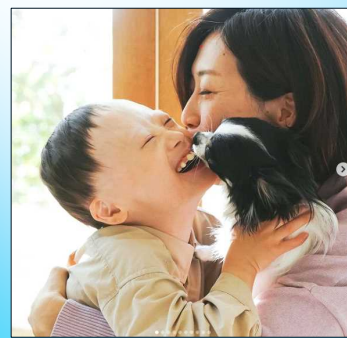
思いやりのある
心優しい子。
この先10年、
20年経っても
私は息子が可愛
くて仕方ないん
だろうな。

加藤秋雪（6さい）くん

生まれて1カ月
ダウン症と診断される



『たったひとつのたからもの』

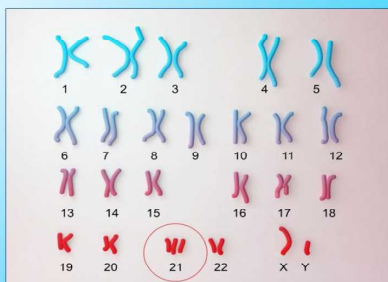


亡くなった母
が、「この子に
出会えたことが
何より幸せなこ
と」と言った。
息子の中で、
色々な人からの
愛がいっぱいに
なるといいな。

ダウン症とは？

遺伝子の染色体 **46** 本

21番目
だけ
3本ある



「そんな目で見ないで...」
ダウン症の人は恐怖、関わりたくない。

母だったら、こんな時どうやって
あげていたのかな？

おしゃべりはあまりできないけど、
手話ができたり体がとても柔らかいと、
すごいところもあるんだよ。

障害のある人が当たり前のように
身近にいる環境であれば、見え方が
もっと違って来るだろうと思う。